



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 トリドール
コード番号 3397 URL <http://www.toridoll.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 栗田 貴也
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 奥田 恭久

TEL 078-200-3430

四半期報告書提出予定日 平成26年11月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	43,243	9.0	3,990	48.4	3,873	48.3	880	29.2
26年3月期第2四半期	39,659	13.6	2,689	△36.8	2,612	△37.1	681	△68.5

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 781百万円 (△8.2%) 26年3月期第2四半期 851百万円 (△60.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	22.40	—
26年3月期第2四半期	17.34	17.33

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	52,380	16,014	30.0
26年3月期	49,556	15,528	30.8

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 15,707百万円 26年3月期 15,248百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	9.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	84,803	8.3	7,200	43.6	6,928	40.7	1,775	109.0	45.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 有
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	39,296,600 株	26年3月期	39,296,600 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	9 株	26年3月期	9 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	39,296,591 株	26年3月期2Q	39,294,456 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。

・平成26年11月5日(水)……機関投資家・アナリスト向け決算説明会

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	6
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀の財政・金融政策により、円安・株高を背景に企業収益や雇用環境の改善傾向が続き、緩やかな景気の回復基調にあるものの、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動、円安による輸入原材料の上昇やエネルギーコストの上昇、人手不足の顕在化など経済環境は依然として不透明な状況で推移しております。

外食業界におきましては、消費税増税の影響はあるものの、高付加価値業態を中心に回復傾向が見られる反面、中食化の進行により同業他社や他業態との競争激化など、引き続き厳しい状況で推移しております。

このような環境のもと、当社グループでは、利益重視の経営方針に基づき、国内におきましては、積極的な商品施策や認知度及び顧客満足度の向上に向けた施策をはじめ、不採算店の閉店、改装を実施したほか、効率的な人員配置、LED照明の導入などによる経費削減策の実施によって利益率の向上を図ってまいりました。

当四半期におきましては、「丸亀製麺」を10店舗出店したほか、caféなど新たな業態の展開を進めるなど、その他の業態で5店舗（うち、FC等（※）2店舗）を出店いたしました。

海外におきましては、収益性を重視しつつも積極的な展開を継続し、直営店により13店舗を出店したほか、FC等により11店舗を出店するなど規模を拡大してまいりました。

この結果、当社グループの当第2四半期会計期間末の営業店舗数は前連結会計年度末に比べ、直営による店舗は13店舗増加して881店舗（うち、国内849店舗、海外32店舗）、FC等による店舗は9店舗増加して49店舗の計930店舗となりました。

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は432億43百万円（前年同期比9.0%増）となりました。また、営業利益39億90百万円（前年同期比48.4%増）、経常利益38億73百万円（前年同期比48.3%増）、四半期純利益8億80百万円（前年同期比29.2%増）となっております。

（※）合弁会社又はフランチャイズを「FC等」といいます。

事業のセグメント別の業績は次の通りであります。

<丸亀製麺（セルフうどん業態）>

丸亀製麺では、ロードサイド8店舗、ショッピングセンター内2店舗の計10店舗を出店し、4店舗を閉店したことにより、当第2四半期連結会計期間末の営業店舗数は780店舗となり、売上高は384億74百万円（前年同期比6.3%増）となりました。

<とりどーる（焼き鳥ファミリーダイニング業態）>

とりどーるでは、2店舗を閉店したことにより、当第2四半期連結会計期間末の営業店舗数は19店舗となり、売上高は11億70百万円（前年同期比7.9%減）となりました。

<丸醬屋（ラーメン業態）>

丸醬屋では、店舗の増減はなく、当第2四半期連結会計期間末の営業店舗数は15店舗となり、売上高は4億94百万円（前年同期比7.5%減）となりました。

<長田本庄軒（焼きそば業態）>

長田本庄軒では、1店舗を閉店したことにより、当第2四半期連結会計期間末の営業店舗数は15店舗となり、売上高は4億41百万円（前年同期比9.3%減）となりました。

<その他>

その他では、国内においては5店舗（うち、FC等2店舗）を出店し、4店舗を閉店したことにより、当第2四半期連結会計期間末の営業店舗数は22店舗（うち、FC等2店舗）となりました。

なお、その他には「麺屋通り」、「とん助」、「まきの」、「コナズ珈琲」、「ラナイカフェ」等が含まれております。

海外においては、24店舗（うちFC等11店舗）を出店し、6店舗（うちFC等4店舗）を閉店したことにより、当第2四半期連結会計期間末の営業店舗数は79店舗（うちFC等47店舗）となりました。

この結果、売上高は26億62百万円（前年同期比130.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ28億23百万円増加し、523億80百万円（前期比5.7%増）となりました。これは主に現金及び預金が増加したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ23億37百万円増加し、363億65百万円（前期比6.9%増）となりました。これは主に長期借入金（1年内返済予定を含む）の合計額が前連結会計年度末に比べ7億22百万円増加し、未払法人税が前連結会計年度末に比べ6億29百万円増加したことによるものです。

純資産は、利益剰余金の増加等により前連結会計年度末に比べ4億86百万円増加し、160億14百万円（前期比3.1%増）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）の残高は、112億53百万円（前年同期比91.8%増）となりました。

各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は53億96百万円（前年同期比53.3%増）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益を27億12百万円、減価償却費を13億63百万円、減損損失を9億49百万円、未払消費税等の増加額を5億44百万円、仕入債務の増加額を3億44百万円、店舗閉鎖損失引当金の増加額を1億60百万円計上した一方で、法人税等の支払による支出が12億93百万円あったこと等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は20億41百万円（前年同期比60.2%減）となりました。これは主に新規出店に伴い、有形固定資産の取得による支出が19億14百万円あったこと等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により得られた資金は3億17百万円（前年同期比49.5%減）となりました。これは主に長期借入れによる収入が50億円あった一方で、長期借入金の返済による支出が42億77百万円及び配当金の支払が3億14百万円あったこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

①平成27年3月期第2四半期連結累計期間における業績予想と実績との差異

当第2四半期連結累計期間におきまして、売上高に関しましては、フェア商品の売れ行きが好調であったことを背景に国内既存店の売上が前年を上回ったため、計画を上回りました。また、営業利益及び経常利益に関しましては、高付加価値商品の販売に伴う原価上昇や全国放映したテレビCMの費用計上があったものの、それ以外の経費が計画を下回ったため、利益に寄与いたしました。その一方で、当第2四半期会計期間において、TORIDOLL LLC及びDREAM DINING CALIFORNIA LLCにおける業績不振店舗の閉鎖等に係る固定資産の減損損失453百万円、閉鎖予定店舗に係る店舗閉鎖損失引当金繰入額214百万円を計上したほか、DREAM DINING CORPORATIONの取得の際に発生したのれんの減損損失199百万円等を含む特別損失として1,193百万円を計上いたしました。当四半期純利益におきましても計画を上回る結果となりました。

上記の結果、平成26年5月12日に公表いたしました平成27年3月期第2四半期連結累計期間（平成26年4月1日～平成26年9月30日）の業績予想と実績との間に差異が生じました。

連結業績予想と実績との差異

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	42,440	2,990	2,835	805	20.48円
実績 (B)	43,243	3,990	3,873	880	22.40円
増減額 (B-A)	803	1,000	1,038	75	—
増減率 (%)	1.9	33.4	36.6	9.3	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成26年3月期第2四半期)	39,659	2,689	2,612	681	17.34円

個別業績予想と実績との差異

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	40,500	3,545	3,390	1,370	34.86円
実績 (B)	41,683	4,408	4,387	1,240	31.56円
増減額 (B-A)	1,183	863	997	△130	—
増減率 (%)	2.9	24.3	29.4	△9.5	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成26年3月期第2四半期)	39,139	2,948	2,879	969	24.68円

②平成27年3月期通期における業績予想の修正

通期の業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績を踏まえ、平成26年5月12日に公表いたしました業績予想を以下のとおり修正いたします。

なお、平成27年3月期の期末配当予想についての変更はありませんが、業績の達成状況等をみながら、当社の配当方針に基づき増配も検討してまいります。

連結業績予想の修正

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	84,000	6,200	5,890	1,700	43.26円
今回修正予想 (B)	84,803	7,200	6,928	1,775	45.16円
増減額 (B-A)	803	1,000	1,038	75	—
増減率 (%)	1.0	16.1	17.6	4.4	—
(ご参考) 前期実績 (平成26年3月期)	78,318	5,014	4,924	849	21.60円

個別業績予想の修正

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	79,400	6,910	6,600	2,400	61.07円
今回修正予想 (B)	80,583	7,773	7,597	2,270	57.76円
増減額 (B-A)	1,183	863	997	△130	—
増減率 (%)	1.5	12.5	15.1	△5.4	—
(ご参考) 前期実績 (平成26年3月期)	76,749	5,769	5,621	1,647	41.91円

※上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（有形固定資産の減価償却方法の変更）

有形固定資産の減価償却方法については、従来、当社は定率法（ただし、事業用定期借地契約による借地上の建物、及び平成10年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）については定額法）によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

これは、当社グループの国内市場の成熟化と海外展開の進展に伴う投資計画の見直しを契機として、減価償却費の発生態様を見直した結果、今後、国内の有形固定資産は安定的な使用が見込まれることから、使用可能期間にわたって均等償却により費用配分を行うことが、当社グループの有形固定資産使用実態をより適切に反映できると判断し、変更を行うものであります。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べ、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ490百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,635	11,253
営業未収入金	1,129	1,065
商品	4	-
原材料及び貯蔵品	233	209
繰延税金資産	567	649
その他	1,234	1,163
流動資産合計	10,804	14,341
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	28,870	29,579
減価償却累計額	△11,273	△11,989
建物及び構築物(純額)	17,596	17,589
工具、器具及び備品	8,528	8,719
減価償却累計額	△6,151	△6,411
工具、器具及び備品(純額)	2,377	2,307
リース資産	4,347	4,372
減価償却累計額	△1,079	△1,183
リース資産(純額)	3,268	3,188
その他	488	169
有形固定資産合計	23,731	23,254
無形固定資産	471	227
投資その他の資産		
投資有価証券	1,287	1,382
敷金及び保証金	4,623	4,643
建設協力金	5,841	5,708
繰延税金資産	1,525	1,551
その他	1,286	1,292
貸倒引当金	△16	△21
投資その他の資産合計	14,548	14,556
固定資産合計	38,752	38,038
資産合計	49,556	52,380

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,875	2,218
1年内返済予定の長期借入金	7,367	7,714
リース債務	177	184
未払法人税等	1,370	1,999
賞与引当金	289	312
店舗閉鎖損失引当金	229	391
その他の引当金	11	2
その他	4,737	5,223
流動負債合計	16,059	18,046
固定負債		
長期借入金	13,039	13,414
リース債務	3,881	3,828
資産除去債務	961	968
その他	85	107
固定負債合計	17,968	18,318
負債合計	34,027	36,365
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,357	1,357
資本剰余金	1,415	1,415
利益剰余金	12,147	12,713
自己株式	△0	△0
株主資本合計	14,920	15,486
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	328	221
その他の包括利益累計額合計	328	221
新株予約権	259	275
少数株主持分	20	32
純資産合計	15,528	16,014
負債純資産合計	49,556	52,380

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	39,659	43,243
売上原価	9,588	11,022
売上総利益	30,070	32,220
販売費及び一般管理費	27,381	28,230
営業利益	2,689	3,990
営業外収益		
受取利息	52	54
その他	67	108
営業外収益合計	120	162
営業外費用		
支払利息	180	182
その他	16	98
営業外費用合計	196	280
経常利益	2,612	3,873
特別利益		
新株予約権戻入益	2	9
店舗閉鎖損失引当金戻入額	-	23
特別利益合計	2	32
特別損失		
店舗閉鎖損失	5	-
店舗閉鎖損失引当金繰入額	44	216
減損損失	737	949
固定資産売却損	-	26
特別損失合計	787	1,193
税金等調整前四半期純利益	1,827	2,712
法人税、住民税及び事業税	1,551	1,913
法人税等調整額	△405	△90
法人税等合計	1,146	1,823
少数株主損益調整前四半期純利益	681	889
少数株主利益	-	9
四半期純利益	681	880

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	681	889
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	119	△86
持分法適用会社に対する持分相当額	49	△21
その他の包括利益合計	169	△107
四半期包括利益	851	781
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	851	773
少数株主に係る四半期包括利益	-	8

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,827	2,712
減価償却費	2,047	1,363
減損損失	737	949
株式報酬費用	30	24
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	5
賞与引当金の増減額(△は減少)	32	22
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	44	160
受取利息	△52	△54
支払利息	180	182
固定資産売却損益(△は益)	-	26
店舗閉鎖損失	5	-
売上債権の増減額(△は増加)	427	62
たな卸資産の増減額(△は増加)	△22	25
仕入債務の増減額(△は減少)	△200	344
未払消費税等の増減額(△は減少)	△62	544
未払金の増減額(△は減少)	212	178
未払費用の増減額(△は減少)	△77	65
その他	113	256
小計	5,242	6,872
利息の受取額	0	1
利息の支払額	△183	△184
法人税等の支払額	△1,538	△1,293
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,520	5,396
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,101	△1,914
無形固定資産の取得による支出	△52	△32
敷金及び保証金の差入による支出	△182	△108
敷金及び保証金の回収による収入	67	123
建設協力金の支払による支出	△540	△47
建設協力金の回収による収入	202	226
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による 支出	△310	-
関係会社株式の取得による支出	△136	△125
その他	△71	△163
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,125	△2,041
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	5,000	5,000
長期借入金の返済による支出	△3,625	△4,277
リース債務の返済による支出	△108	△88
配当金の支払額	△648	△314
その他	11	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	629	317
現金及び現金同等物に係る換算差額	80	△54
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△895	3,618
現金及び現金同等物の期首残高	6,762	7,635
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,867	11,253

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

該当事項はありません。